

QSL CARD

JA1W0B 齊藤

11月の初旬にJARLからQSL CARDが佐川急便のエクスプレスバックで届きました。

早速、封を開けて数えてみると、150枚ほどありました。

いつもは、茶色のA6サイズの封筒で届いたので、驚きました。

QSLの転送回数が少ないのか、私のQSO局数が多いのか、分かりませんが、大きなエクスプレスバックで届くのは気持ちが良いものです

こちらから、JARLへのQSL送付は年に3回～4回の割合で送っています

1回目は、NEW-YEAR PARTYが終わった後の2月頃

2回目は、240の電波実験が終わった後の6月頃

3回目は、8月の夏休みが終わった9月頃

4回目は、年内にQSOして未発行分を発送する12月です

2回目と3回目は移動運用が多くなるので、1回に送る枚数も80枚前後になります。

QSLを集めて、アワードなどを申請する予定は有りませんが、JARLから届くQSLの封筒を開封するのは、楽しい一時です。

開局当時のQSLは木版に彫ったコールサインを水彩絵の具で印刷して発行していました。

次に、コールサインとレポートのみ印刷したのQSLを、500枚注文して無くなるまでに3年位かかった様な気がします

開局から5年位の間は、ファーストQSOの回数も少なかったのは、全体局数も少なく、50MhzのAMではグランドウエーブでは東京近郊が限界でしたし、何時も送信機の修理や改造に追われていた為だったのでしょう

そして、1990年の再開局の時は、東大和市のポストカード集にあった、多摩湖の桜と取水塔の写ったQSL CARDを1000枚オノウエに注文しました。

また、セカンドQSO以降のQSLとして、市販の100枚無印カードに、パソコンで印刷したカードや240特製QSLも利用しました。

次に、東大和市のポストカードが無くなったので、会社の同僚が写った八ヶ岳の綺麗な紅葉写真を借用して1000枚オノウエに注文しました。

数年前からは、HAMLogのQSL印刷機能を使い、小さな写真を付けて発行する様になり、QSLの注文印刷や市販のQSLでPC印刷する事も無くなりました。

今年のQSO局数を振りかってみると、10月末時点で299局であり、昨年10月末の332局と比較すると、10%ほど少なかった。

今年の多い月は、1月のNEW YEAR PARTY、4月の梅ノ木峠移動

5月の電波伝搬実験下見の有間峠と実験当日の根の権現で、合計207局でした。

11月の初旬にまとめて届いたQSLは4月5月の分の様です

HAMLogのデータを基に今年のQSO局数表を作成しましたのでご覧下さい。

周波数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総計
7		3									3
18						8	4	9			21
21				1			2	2			5
29							2				2
50	39		3	28	84	18	9		8	4	193
144						2			1	2	5
430	9		6	13	33				3	3	67
1200		3									3
総計	48	6	9	42	117	28	17	11	12	9	299

このHAMLogのデータを基に1990年7月に再開局してからのQS0データも作成してみました。

西暦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	平均
1990							23	11	33	25	22	36	150	25
1991	34	42	44	33	44	55	36	51	25	19	26	12	421	35
1992	8	27	13	25	95	34	22	19	18	7	44	13	325	27
1993	32	12	6	13	72	8	6	23	3	32	13	10	230	19
1994	45	3	11	21	84	36	21	26	13	87	51	13	411	34
1995	22	3	6	10	80	54	22	12	3	9	49	7	277	23
1996	26	3	6	17	92	12	13	15	20	82	6	12	304	25
1997	33	9	28	12	228	49	17	42	23			2	443	37
1998	34	4	4	23	36	7		21	4	7		8	148	12
1999	31	10	4	37	52	28	17	1	2	14	34	5	235	20
2000	38		3	6	102	1	41	13	2	6	42	2	256	21
2001	29	2		3	106	3	6	1	35		46		231	19
2002	31	1	21	18	20	4	1	31	1	1	19	1	149	12
2003	24		23	81	75	41	6	12	19	4	102	83	470	39
2004	30	34	21	26	23	16	9	10	7	14	8	42	240	20
2005	40	2	32		42		6	33	40	14	41	35	285	24
2006	29	9	18	12	63	12	9	18	38	21	3		232	19
2007	27	66	7	39	21		78	13	48	33		18	350	29
2008	48	6	9	42	117	28	17	11	12	9			299	30
総計	561	233	256	418	1352	388	350	363	346	384	506	299	5456	

この表から、年間のアクティブ度合いが分かります、1991年の421局は再開局1年後で50.240グループに参加した年だと思います
1994年の411局、1997年の443局、2003年に470局と400局以上を超える年は毎年出ていません。毎年平均的にQRVするのは難しいですね。
年間を通して一番局数が多い月は5月の1352局でこれは、やはり電波伝搬実験の下見と本番で月に2回は移動運用する為、大な効果となっているのだと思います。
また、最近5年では200局を下回る事は無く300局前後の局数になっています、移動運用で50M以外にも18Mや21Mや430MにもQRVする様になった為だと思います。

来年も、アクティブにQRVしたいと思っています。

おわり